

名古屋中心部へ快適なアクセス

協立総合病院

KYORITSU GENERAL HOSPITAL

Becoming a General Doctor
「協立の主治医制」で得られる「総合マネジメント能力」



協立総合病院初期臨床研修プログラム

「主治医制」だから得られるリアルな成長！ 日々の経験&ふりかえりで身につく圧倒的な総合力

研修の特徴

初期研修は医学的な知識や技能を身につけるだけではありません。これからはじまる医師人生の出発点として、患者を中心としたチーム医療を学ぶことや、振り返り学習を通じた学習者としての訓練まで幅広い研修が求められます。これまでの実績から後悔させない研修をお約束します。

協立研修システムはこれだ！

- プライマリ・ケアを学ぶには相応しい環境と『主治医制』の採用
- Common diseaseをしっかり経験し、チーム医療で問題を解決
- 週1回の救急外来と当直研修で臨床力が培われる



協立総合病院の研修の柱となる『主治医制』システム

複雑な医学的問題や複雑な心理・社会的背景因子を有する患者さんが多数いらっしゃる為、医師としてマネジメントする能力が求められます。1年目4月より患者さんを受け持ち、「主治医」として治療や検査の要否の判断から治療方針の決定、患者さんへの説明も行います。はじめは不安ですが、症例を増す毎に少しずつできることが増えていきます。初期研修2年間を通じて、患者さんの治療に関する日常の些細な不安についても、日々の振り返り等で気軽に相談できる体制（PHSでも快く相談に乗ってくれます！）が整っているので、指導医とマンツーマンで患者さんの主治医となります。



研修システムのアピール

当院では各科のローテートと並行して、週1回の救急外来を担当します。多くのCommon diseaseを経験することで、隠れた疾患などを鑑別します。不安に思ったときは、すぐに上級医や他科の医師にコンサルトできるので安心して研修をすることができます。また、当直研修は、原則1年目の12月からです。12月までは日勤帯の救急外来でしっかりと研修を行います。その後に当直研修を始めるプログラムとなっているので、じっくりと力をつけることができます。実力と自信をつけてから2年目の当直に臨めるようになります。

協立総合病院の地域医療が 医師としての心の礎を築く

院長
飯田 邦夫 医師



当院の初期研修の特徴は臨床の総合マネジメント能力（担当医としての臨床能力）の取得が特に重要視されていることです。そのために研修早期から主治医として患者を担当し、指導医の下、疾患の診断、治療はもちろん、複数の医学的問題、複雑な心理・社会的背景も含め全人的にマネジメントする能力を身につけていきます。また救急医療も症例が多く、緩和ケア病棟、診療所での地域医療など他の病院にはない研修も可能となっています。

主治医となるための 臨床能力の習得が重要

指導医・プログラム責任者
小玉 祐介 医師



当院では4月の研修開始時から主治医となります。チームの一員ではなく、主治医となることでより積極的に患者と関わり、様々なことを自分で決定することにより、緊張感をもって研修ができます。患者からも医療スタッフからも重大な医学的問題から些細な悩み事、社会的問題などを尋ねられ決定するため格段に臨床能力が鍛えられます。もちろん、指導医や上級医からは適宜手厚い援助があります。当院は教え好きの先生が多く、医師全員同じ医局で、相談しやすい環境なので安心してください。

協立総合病院を語る3つの勉強会

1 週間の勉強スケジュール



隔週火曜 14:00～17:00
豊富な経験からの知見を得る
PG責任者による症例・手技カンファ

主治医として担当している自分自身の受け持ち患者さんをプレゼンし、疑問点や今後の治療方針などをアドバイス頂けます。簡易的なプレゼンも行なうので、プレゼンの勉強にもなります。
同時刻内に手技カンファとして、必要な手技について救急指導医より、レクチャーを受けて、不安な部分についてきめ細かくフォローしていきます。他のカンファレンス等でもプレゼンを鍛える機会に活用でき、学習面での不安を解消し安心できる環境です！

毎週水曜 17:00～18:30
実践しながらの学習会、あわせてふためくは君次第
救急学習会

救急科の指導医より救急症例のカンファレンスを行っています。問診、鑑別、検査、治療を考え、より具体的に実践的な学習会です。レサシアンという実物大の人体模型を使用して、実際に過去にあった症例に対しどのように対応して、処置していくのか研修医が知恵を出し合いながら、問題を解決していきます。明日から使える技術と知識満載です。

毎週金曜 9:00～12:00
医師としての真髄を追求する
総合内科カンファレンス

藤田医科大学の救急総合内科医師によるミニレクチャーです。普段困っていること、疑問に思っていることや、自分が受け持つ患者さん全員の疾患、治療方針について、初期研修医みんなでディスカッションしています。総合マネジメント能力が身につく、大変勉強になるカンファレンスです。時間が経つのを忘れるほど、毎回充実した内容です。

その他勉強会・カンファレンス例

- 臨床病理検討会
- 日本救急医学会認定ICLSコース
- 総合診療スキルアップセミナー
- SDH症例検討会
- 近隣病院とのカンファレンス

勉強会を同期・先輩研修医と参加し、結束力を高めていけます。頼りになる指導熱心な医師が多いので、コンサルする際にとても安心です。

ローテートスケジュール

協立総合病院の研修は、研修医の学習目標と希望に合わせてローテートを組みます。研修医自身が主体的に研修できるよう、次年度のローテートについては研修医自身で作成します。作成する経験を通して、2年次ひいては将来どのような道へ進んでいくのか、それぞれ研修医の考えを共有し、そのサポートをさせていただきます。

内科を目指したいAさんの例

3年目に消化器内科専攻医を目指すため、消化器研修とワクチンの研修を多めに経験できる2年目の下半期に地域研修を組み込みたい。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	導入研修、内科病棟 (消化器病棟)			内科病棟 (循環器病棟)			救急 研修	麻酔科 研修	外科 研修	救急 研修	小児科 研修	皮膚科/腎内 研修
	協立総合病院											
2年目	病理 研修	整形 研修		産婦人科 研修	放射線 研修	精神科 研修	地域医療 研修	救急 研修	内科病棟 (消化器病棟)		内科研修 (呼吸器)	緩和 研修
	協立総合病院			名古屋掖済会病院	協立総合病院	松蔭病院	みなと診療所	協立総合病院			南生協病院	協立総合病院

整形外科を目指したいBさんの例

3年目に整形外科専門医のプログラムへ進む予定なので、初期研修ではマイナー科を中心に研修をしていきながら、2年次も引き続き整形外科の研修を行い、OPE等の手技についても向上していきたい。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	導入研修、内科病棟(消化器病棟)			小児科研修	麻酔科研修	外科研修	救急研修	整形研修		内科病棟(循環器病棟)		救急研修
	協立総合病院											
2年目	放射線研修	皮膚科/腎内研修	産婦人科研修	精神科研修	救急研修	地域医療研修	整形研修	糖尿病研修	内科研修(呼吸器)		整形研修	
	協立総合病院			名古屋掖済会病院	笠寺精治療病院	協立総合病院	みなと診療所	協立総合病院	名南病院	南生協病院		協立総合病院



初期研修医 循環器病棟の1日

One day of the Resident

6:30

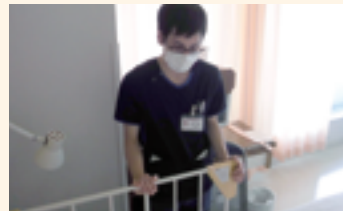
起床

出勤

8:00

病棟回診・医局朝会

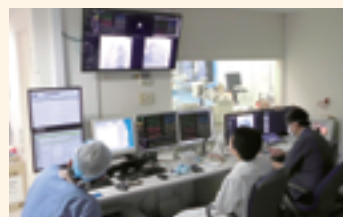
受け持ち患者(5名)について、電子カルテにて昨日からのことを限なくチェック。そのあとに回診し、患者さんと話をし状態確認。その後、医局の朝会へ参加し入院患者数の把握、上級医と情報共有をします。



8:30

心臓カテーテル検査

救急外来に心不全疑いで搬送された患者さんの検査を指導医と一緒に実施しています。臨床工学技士、放射線科技師などの多職種の方と一緒に評価を進めていきます。



負荷シンチ検査

負荷シンチを専門的に担当する医師から学びます。検査後、指導医とともに心電図や画像をチェックし、フィードバックを受けます。

12:00

昼食・休憩

研修医や先輩医師たちとランチをすることも。うらぼーとも近くにあり便利！病院食堂はとってもお得で、多くの職員が利用しています。また近所にコンビニやスーパーがあるので時間外でも食事は困りません。

13:00

病棟業務

朝、回診しきれなかった患者さんについて、状態を確認し指導医へ報告します。疑問が湧いたら調べ、指導医に報告・提案してフィードバックを受けます。指導医からも積極的に話をしてくれます。



17:30

退勤

指導医から再度フィードバックを受け、残務を処理した後、退勤。

救急学習会(毎週水曜日)

実際の症例を題材にし、救急外来に患者が来たことを想定して鑑別診断していく学習会。研修医が問診、検査、鑑別、治療を考え、どのように対応して処置していくのか、知恵を出し合いながら進めていきます。



オフタイム

平日の仕事終わりは金山駅、休日前は繁華街の栄駅へ遊びに出かけます。最寄りの東海通駅・六番町駅から乗り換えはありません。栄は大きなデパートや書店・飲食店も多く、充実したオフタイムを過ごすことができます!!

永戸 広志 医師

研修年次：2年目
出身：神戸大学
部活：ワンダーフォーゲル部
趣味：マラソン

【主治医】だからこそ磨かれる 医師の総合マネジメント

1年目の4月に内科病棟に配属されると、指導医から受け持ち患者さんを割り当てられ、「主治医」として患者さんに主体的に関わっていきます。もちろん、自分一人が担当するのではなく、研修医が主体的に診ていきながらも、投薬管理や検査オーダーなど、常に指導医と一緒に方針を決めていき、土日祝に関しては当直医・指導医のフォローもあり、頻繁な呼び出しはなく大きな負担になりません。

個人の力量の範囲で症例が割り当てられ、しっかりとフォローがある安心の環境のもと、「主治医」としての責任を持ち、医師としての総合マネジメント能力を習得できます。実際に1人の患者さんを入院から退院まで診ていくなか、退院先をどうするのか、どうすれば退院後も安定した生活を送っていくことができるのか…。患者さんのマネジメントを行うのは「主治医」ですが、最善の策をほかのスタッフと一緒に「チーム」で考えていく大切さも学ぶことができます。

次の課題を明確にする 【ふりかえり】を重要視した勉強会

日常診療で驚いた体験を、後で体系的に振り返り(reflection on action) その時にどうしてその出来事が生じたのか、どうすればよかったのか、などから何を学習しておくことが必要なのかを考えておくことが後の診療に役立ちます。こうした“ふりかえり学習”を行うことで、臨床的な知識の体系が身につく、新しい状況に出会った時に、解決策や鑑別診断がその場で浮かぶことが多くなります(reflection in action)。臨床の鑑別能力は主訴や臨床状況によって独立しています。当院では救急・外来・病棟で200項目ぐらいの主訴・臨床状況に出会い、それを徹底して振り返ることで鑑別診断の能力が身につきます。

福利厚生について

一部機関の通院費・薬剤費補助(本人のみ)、結婚・出産・入学等祝い金、死亡見舞金など、家族旅行宿泊費の一部補助、インフルエンザワクチン接種の一部補助、スポーツ施設など健康増進のための施設利用の割引、職員旅行(不定期開催)など

協立総合病院の専門研修プログラム (基幹プログラム)

≪内科領域、総合診療領域≫

- 頻発疾患から重症・希少疾患まで多彩な症例を幅広く経験し、総合的なマネジメント力を身につけた専門医を養成します。
- 学会で発表を行うのであれば、制限なく出張を許可します(費用は病院負担)。
- 子育てなどの事情によりフルタイムで勤務できなくとも、家庭と研修を両立させて専門医を取得することができます(短時間勤務制度を利用、常勤職員として採用)。

内科

定員 4 名

当院の内科研修は、専門領域を隈なく網羅し、各診療科間にまたがる疾患も広く研修することができます。プログラムを通じて、専攻医には医師として必要な基本的な技術を取得するとともに初期研修で身につけた「総合力」をさらに伸ばしてほしいと考えています。疾患の病態に特異的な診療技術を身につけるとともに、患者の抱える多様な背景を配慮することに研修の特長があります。

内科ローテーションのスケジュールと期間

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	協立総合病院											
	循環器内科						消化器内科					
2年目	協立総合病院											
	神経内科						呼吸器内科					
3年目	愛知 愛知医科大学病院 愛知 藤田医科大学病院 愛知 名古屋市立大学病院											
	血液内科						内分沁内科			腎臓膠原病 リウマチ内科		

※このスケジュールは一例です。

総合診療

定員 2 名

当院の総合診療研修は、病院勤務を基盤としたプライマリ・ケア医(総合医)と都市部診療所における家庭医を養成することに特長があります。当院は、これまでに「医療福祉生協連家庭医療学後期研修プログラム・東海」を運営し、東海地方を中心に多くの家庭医・病院総合医を輩出してきました。当プログラムはその後継にあたります。10年以上の信頼と実績のあるプログラムで総合医を目指してみませんか。

総合診療ローテーションのスケジュールと期間

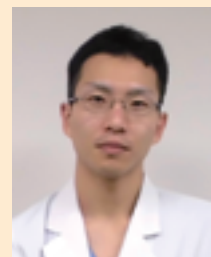
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1年目	協立総合病院 内科											
2年目	小児科			協立総合病院 救急 総診Ⅱ								
3年目	愛知 みなと診療所 愛知 北病院 愛知 名南診療所 静岡 佐藤町診療所					から 1ヶ所を 専攻医が 選択		協立総合病院 総診Ⅰ 総診Ⅱ				
4年目	静岡 西伊豆健育会病院 群馬 利根中央病院 岐阜 こがねだ診療所					のうち1ヶ所を専攻医が選択 総診Ⅰ(西伊豆健育会病院 または こがねだ診療所を選択した場合)、 総診Ⅱ(利根中央病院を選択した場合)						

※このスケジュールは一例です。

内科専攻医の声

内科 長江 典彦 医師

協立総合病院の内科プログラムは症例数を十分に集めることが可能です。症例の取り合いになることもなく「一般内科医」として common disease をみる地域医療の担い手となるには十分なフィールドです。主治医として患者を診ること、自身の専門領域以外の内科患者(症例)も診ることができるため医師としての力を付けることも可能です。ただし、一部の内科領域は網羅できないので、外病院での研修が必要となりますが、1年間の連携病院での研修期間で補うことができます。連携病院は「愛知医科大学」「藤田医科大学」「名古屋市立大学」などで不足のない研修が出来ると思います。



女性医師が働きやすい環境



当院は、女性医師が働きやすい環境づくり、制度推進に積極的に取り組んでおります。当直免除制度や短時間勤務制度などを制定し、女性医師一人ひとりのケースに合わせて、勤務しやすいようにバックアップしております。

仕事と育児を両立しながら、専門医を取得

内科 齋木 里帆 医師

みなさんこんにちは。初期研修医から協立総合病院でお世話になっている齋木(梅本)里帆と申します。現在、内科専門医の資格を取るため研修に励んでおります。妊娠が分かってからは業務を軽減してもらいながら仕事を続け産休へと入ることが出来ました。女性医師は、結婚・出産・育児からキャリア育成が難しい職業となっていますが、当院のアットホームな環境に支えられながら仕事と育児を両立できるよう邁進していきたいと思っています。



待遇

身分	常勤職員
給与	1年目 350,000円/月 想定年収500万円(当直手当を除く) 2年目 410,000円/月 想定年収600万円(当直手当を除く)
有給休暇	初年度10日、次年度12日
社会保険 共済制度	健康保険、厚生年金保険、労災保険、雇用保険、 生協役職員共済 他

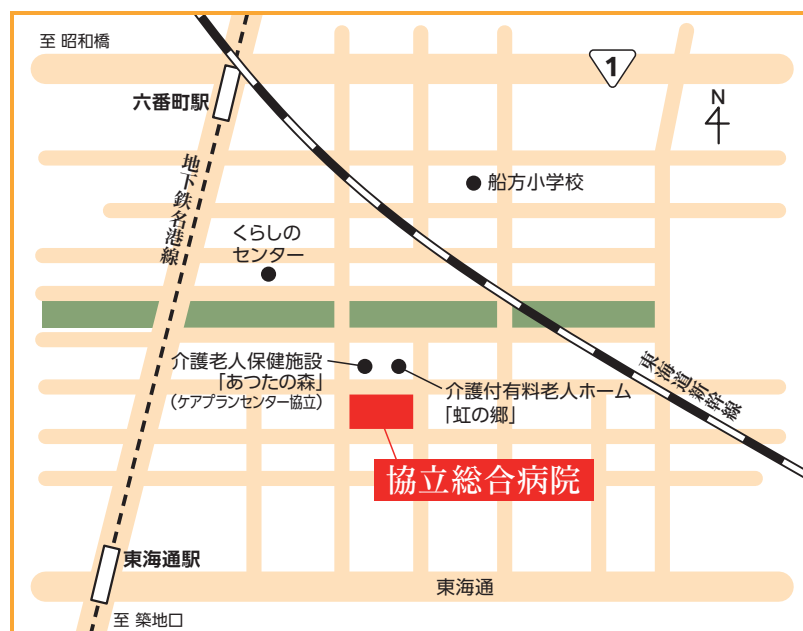
募集要項

応募資格	医師国家試験合格予定者 マッチングプログラム参加者
募集	6名の予定
試験日程	8月上旬から20日頃にかけて (相談に応じます)
応募書類	履歴書・卒業見込証明書・小論文
応募締切	8月20日まで

栄駅まで11分、名古屋駅まで15分。名古屋中心部まで直ぐの利便性！

協立総合病院がある熱田エリアは、名古屋中心部までのアクセスが大変便利です。

名古屋随一の繁華街・栄駅までは、地下鉄・六番町駅から最短11分ほどで着きます。また、JR名古屋駅までも15分です。



お問い合わせ先

みなと医療生活協同組合

協立総合病院

〒456-8611 名古屋市熱田区五番町4-33

担当者: 医師支援事務局 医学生担当

TEL: 052-654-2211(代表)

Mail: minato99@kyoritsu-ghp.or.jp

<https://hr-kyoritsu.jp/early-program/>

こちらのQRコードからも
お問い合わせができます。



協立総合病院へのアクセス

地下鉄名港線「六番町駅」または、
「東海通駅」下車、徒歩10分。

ご当地グルメ、おすすめスポット

当院の研修医の先生、看護師がおすすめするご当地グルメやスポットをご紹介します！



ひつまぶし

熱田神宮周辺には、ひつまぶしのお店がたくさんあります。当院から近いエリアですし、食べ歩きをしてみても？



名古屋港水族館

名古屋港ガーデンふ頭にある水族館。気分転換に研修医仲間と出かけ、海の生きものに癒されています。

話題の名港エリア

レゴランド

休日にレゴでリフレッシュ、大人でも十分楽しめます。

リニア・鉄道館

鉄オタ必見！0系からリニアまで歴代の新幹線車両がバッチリ網羅。

ららぽーと みなとアクルス

病院から徒歩15分。
上質なライフスタイルを発信する話題のショップが目白押し。